

平成20年度における運用状況等

(平成20年4月～平成21年3月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っていますが、平成20年度における運用状況が確定しましたので公表いたします。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）における運用環境について	1
2. 平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）のポートフォリオ別の運用状況	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
（参考）	
被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移	5
用語の説明	7

1. 平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）における運用環境について

○国内債券・外国債券

長期金利は、4月から6月にかけて原材料価格の高騰を背景にインフレ懸念が台頭し、一時1.9%（国内）まで上昇しました。7月以降、金融危機の広がりや世界的な景気悪化に対応すべく、各国中央銀行が相次いで利下げを実施すると、世界的に長期金利は急低下しました。こうした環境の中、長期金利は12月末一時1.2%（国内）を下回る水準まで低下しました。しかしながら、年が明けた1月以降、オバマ政権の政策に対する期待感や経済対策等による国債増発に伴う需給悪化懸念等により、再び金利が上昇基調となりました。

○国内株式・外国株式

8月以降、米国における金融危機や国内外の景気減速懸念などが更に深まる中、9月に米国大手証券会社の破たんにより株価が急落しました。11月、12月には短期的に反発する局面も見られたものの、企業業績の大幅な下方修正が相次いだことに加え、第3四半期GDP等により国内景気の悪化が鮮明になると、再び値を下げる展開となりました。しかしながら、3月中旬以降、一部の経済指標が好転したことや、更なる金融安定化策等により、株価は上昇に転じました。

○為替

上記のうち、為替要因につきましては、インフレ懸念を背景に、欧州で政策金利が高止まりしていたことから、7月まではユーロ高が進行しました。10月以降、欧米での金融危機、景気減速から消去法的に円が選好され、円高が進行しましたが、年が明けた1月以降、円安基調で推移しました。

（注）資産毎の「ベンチマーク・インデックスの推移」を4ページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

2. 平成20年度(平成20年4月～平成21年3月)のポートフォリオ別の運用状況(決算整理前)

①被保険者ポートフォリオ

平成20年度における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成20年度末の時価総額は1,122億7百万円となり、平成20年度の総合収益は-107億65百万円となりました。また、修正総合利回りは-9.25%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成19年度末 時価総額 ①	平成20年度保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成20年度末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	平成20年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	80,207	358	80,565	81,805	72.9	1,240	1.53
国内株式	15,108	3,835	18,943	13,891	12.4	-5,053	-33.61
外国債券	3,229	2,769	5,998	5,568	5.0	-430	-7.44
外国株式	9,200	7,967	17,166	10,778	9.6	-6,388	-44.90
短期資産	2,140	-1,841	298	165	0.1	-133	-35.01
合 計	109,884	13,088	122,972	112,207	100.0	-10,765	-9.25

- (注) 1. 「平成20年度保険料・国庫補助投下額②」では、受給権者ポートフォリオ等への繰入額が除かれています。
 2. 信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等は、短期資産で整理しています。
 3. 単位未満を四捨五入しているため、合計欄で合わない場合があります(以下同じ)。

②被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成20年度における被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成19年度末 時価総額 ①	平成20年度 繰入額②	計 ③(①+②)	平成20年度末 時価総額 ④	平成20年度 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	54	1,320	1,375	1,788	414	0.55
調整準備金	短期資産	461,344	-8,912	452,432	455,397	2,965	0.64
合 計		461,399	-7,592	453,807	457,185	3,378	0.63

(注)「平成20年度繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

③受給権者ポートフォリオ

平成20年度における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

資 産	平成19年度末 時価総額 ①	平成20年度 繰入額②	計 ③(①+②)	平成20年度末 時価総額 ④	平成20年度 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	954,826	1,709,377	2,664,203	2,715,588	51,385	3.26
短期資産	(注)1参照 -8,426	114,440	106,014	106,169	155	0.33
合 計	946,401	1,823,816	2,770,217	2,821,757	51,540	3.18

(注) 1. 「平成19年度末時価総額①」の短期資産のマイナス表示は、平成19年度決算に基づき、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入を行ったためです。
2. 「平成20年度繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれています。

④受給権者危険準備金ポートフォリオ

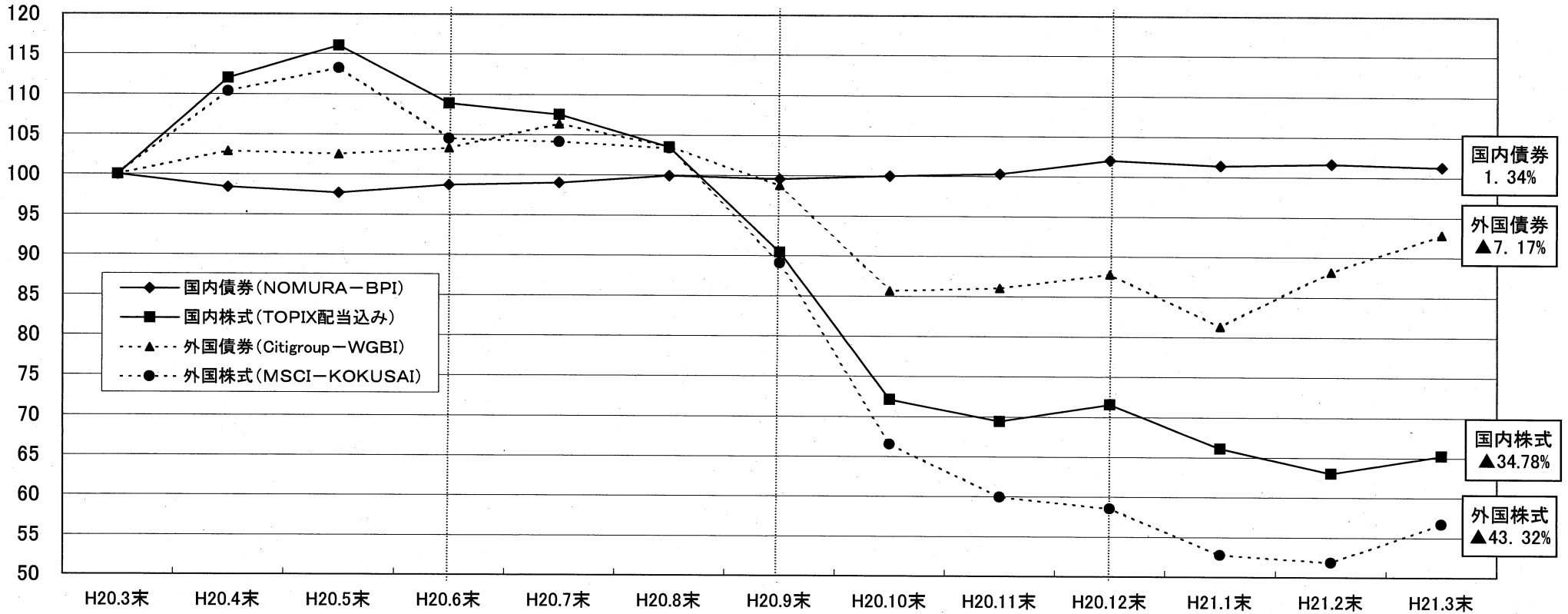
平成20年度における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成19年度末 時価総額 ①	平成20年度 繰入額②	計 ③(①+②)	平成20年度末 時価総額 ④	平成20年度 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	164,116	61,269	225,386	226,572	1,186	0.63

(注)「平成20年度繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオ等からの受入額が含まれています。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H20.3末=100)



○運用環境

	平成20年3月末	平成20年6月末	平成20年9月末	平成20年12月末	平成21年3月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.274 %	1.590 %	1.460 %	1.163 %	1.342 %
(NOMURA-BPI総合)	312.047 ポイント	308.113 ポイント	310.842 ポイント	318.472 ポイント	316.237 ポイント
国内株式(日経225)	12,525.54 円	13,481.38 円	11,259.86 円	8,859.56 円	8,109.53 円
(TOPIX配当込)	1,450.00 ポイント	1,579.09 ポイント	1,311.57 ポイント	1,037.53 ポイント	945.72 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	3.425 %	3.964 %	3.829 %	2.230 %	2.669 %
(Citigroup-WGBI)	338.08 ポイント	349.45 ポイント	334.10 ポイント	296.73 ポイント	313.82 ポイント
外国株式(NYダウ)	12,262.89 ドル	11,350.01 ドル	10,850.66 ドル	8,776.39 ドル	7,608.92 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	1,419.472 ポイント	1,483.695 ポイント	1,264.948 ポイント	831.017 ポイント	804.538 ポイント
為替レート(対ドル)	99.53 円	106.01 円	106.17 円	90.65 円	98.77 円
(対ユーロ)	157.72 円	167.02 円	149.12 円	126.00 円	131.14 円

(参考) 被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移

(1) 総合収益の推移

(単位:百万円)

年度	総合収益 (単年度)
平成14年度	-563
15	1,852
16	1,690
17	6,603
18	2,923
19	-5,047
20	-10,765

(注)「平成14年度」の計数は、平成14年1月1日から平成15年3月31日までのものです。(以下同じ)

(2) 運用利回りの推移

年度	修正総合 利回り (単年度)
平成14年度	-4.65%
15	5.99%
16	3.40%
17	9.80%
18	3.27%
19	-4.73%
20	-9.25%

【参考1】

平成20年度各四半期毎の総合収益等の推移

(単位:百万円)

	総合収益	修正総合 利回り
第1四半期	1,451	1.31%
第2四半期	-4,252	-3.69%
第3四半期	-6,400	-5.63%
第4四半期	-1,519	-1.35%
通期	-10,765	-9.25%

【参考2】

運用手法別運用資産額(平成20年度末)

(単位:百万円)

	自家運用 資産	委託運用 資産	計
国内債券	41,370	40,435	81,805
国内株式	-	13,891	13,891
外国債券	-	5,568	5,568
外国株式	-	10,778	10,778
短期資産	4	161	165
合計	(36.9%) 41,374	(63.1%) 70,833	(100.0%) 112,207

(3) 運用利回りの推移(運用資産別)

年度	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	合計
平成14年度	2.58%	-28.75%	16.31%	-31.72%	-0.36%	-4.65%
15	-0.08%	48.62%	-1.70%	21.12%	-7.85%	5.99%
16	1.76%	3.07%	11.42%	14.90%	-18.46%	3.40%
17	-0.14%	49.88%	7.83%	27.68%	-21.62%	9.80%
18	1.75%	0.94%	10.62%	17.36%	-21.84%	3.27%
19	2.42%	-29.59%	0.80%	-18.59%	-22.99%	-4.73%
20	1.53%	-33.61%	-7.44%	-44.90%	-35.01%	-9.25%

(4) 年度末時価総額の推移

(単位: 百万円)

年度	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		短期資産		合計
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	
平成14年度	15,485	67.5%	3,169	13.8%	1,225	5.3%	1,639	7.1%	1,434	6.3%	22,948
15	33,240	78.5%	4,166	9.8%	1,935	4.6%	1,555	3.7%	1,438	3.4%	42,335
16	43,270	71.6%	9,081	15.0%	2,192	3.6%	5,765	9.5%	121	0.2%	60,430
17	57,192	69.2%	14,581	17.6%	2,510	3.0%	8,219	9.9%	117	0.1%	82,619
18	72,170	71.9%	15,014	15.0%	3,694	3.7%	9,310	9.3%	157	0.2%	100,345
19	80,207	73.6%	15,108	13.9%	3,229	3.0%	9,200	8.4%	1,192	1.1%	108,937
20	81,805	72.9%	13,891	12.4%	5,568	5.0%	10,778	9.6%	165	0.1%	112,207

用語の説明

○ ポートフォリオ

性質が同じ資金をまとめて運用するための運用単位のこと(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* Citigroup-WGBI(日本を除く)

シティグループが作成している外国債券市場の指標。主要先進国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。